

「まなびの広場」は那須教育事務所ホームページに掲載されます。
https://www.pref.tochigi.lg.jp/m56/system/desaki/desaki/nasu-kyouiku01.html

毎月第3日曜日は「家庭の日」

ふれあいの丘 天文館

☆星の環を見よう☆

9月に入り、午後8時頃の南東の空に土星が目立つようになってきました。この時期、土星は絶好の観望チャンスです。それは、土星が地球から見て太陽のちょうど反対側に来るからです。そのため、見かけの大きさが大きく、より明るく見えます。

ふれあいの丘天文館では、このチャンスに、土星の環を見ようというイベントを実施します。環の縞模様も見えるかもしれません。



(土星 天文館)

- 期 日 9月28日(水)～10月2日(日)
- 時 間 午後6時10分～午後9時
- その他 電話予約が必要です。

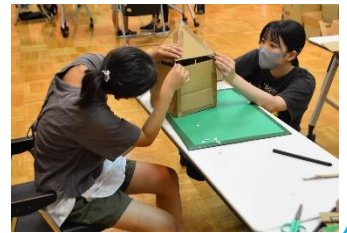
ふれあいの丘天文館 0287-28-3251

アナザースクール夏休み特別版

那須町版放課後子ども教室事業「アナザースクール」(通称アナスク)は、地域ボランティアの方が講師となり、那須町の子どもたちに様々な体験活動の機会を提供することによって、放課後や休日の充実を図る事業です。

今年度から、新たな取組として夏休み特別版を実施しました。「プログラミング講座」と「ものづくり講座」の2講座を2日間開き、延べ59名の参加がありました。

参加児童からは好評をいただいております。学校では体験できない新たな学びに目を輝かせたり、柔軟な発想で個性的な作品を作りあげたりする光景が随所に見られました。



なすしおばら まなび博覧会開催

市民の方が新たに学習への興味・関心をもつきっかけづくりとして、体験ブースを設置し、様々な学びを提供するとともに、子どもたちや市民の学びの成果に触れることのできる「学びの祭典」を開催します!

- 期 日 11月12日(土)～13日(日)
- 時 間 午前9時30分～午後3時
- 場 所 宇都宮共和大学那須キャンパス
(那須塩原市鹿野崎 131)

※当日は那須塩原駅からシャトルバスが出ます。

- 内 容 STEAM教育体験、児童作品展示等



※状況によって延期や中止になる可能性があります。

とちぎ子どもの未来創造大学

本県では、県内の高等教育機関や民間企業等と連携しながら、小学4年生から中学3年生までを対象に「本物」に触れる学習機会を提供する、「とちぎ子どもの未来創造大学」を実施しています。本地区でも、2講座が開講予定です。

【那須塩原市】「まが玉をつくろう」

- 期 日 11月12日(土)
- 場 所 宇都宮共和大学那須キャンパス
(まなび博覧会内)

【那須町】「とちぎの化石」

- 期 日 12月10日(土)
- 場 所 那須町文化センター



とちぎ子どもの未来創造大学
ホームページ

講座への参加には、予約申込みが必要です(開講1ヶ月前から予約開始)。



講座の詳細や申込み方法は、「とちぎ子どもの未来創造大学ホームページ」を御覧ください。



がんばる学校・地域！応援プロジェクト



3年目を迎える本事業は、新学習指導要領の理念である「社会に開かれた教育課程」を実現するため、「地域とともにある学校づくり」及び「学校を核とした地域づくり」への支援を一体的に行うことにより、子どもたちの豊かな人間性や主体的に考える態度を育むとともに、子どもの学びを支える地域の教育力の向上を図ることを目的に行われています。本年度は、那須町立高久小学校と那須塩原市立黒磯中学校の2校が県教育委員会の指定を受けて、本事業に取り組んでいます。

那須町立高久小学校

本校では、以前から地域の方々の協力により教育活動の充実が図られてきましたが、平成29年度にコミュニティ・スクールが設置されたことにより、連携・協働の推進体制がより整備されてきました。

本プロジェクトでは、地域が学校のサポーターとして得た経験を生かした上で、学校のパートナーとなって地域学校協働活動を推進し、児童・保護者・地域住民の交流がより活性化されるきっかけづくりになればと考えています。



様々な活動に地域の方々の協力は欠かせません。
(写真左：新体カテスト 写真右：サツマイモ苗植え)

那須塩原市立黒磯中学校

令和2年度に地域学校協働本部が設置され、学校と地域の連携・協働が組織的・継続的に展開されるようになりました。元々、地域コミュニティの活動が盛んな地区であったことから、本校は、より強力なパートナーを得たこととなります。

本プロジェクトでは地域の強みを生かしながら、生徒が主体的に地域学校協働活動に参画し、地域によさや人々の繋がりが実感できる取組になればと考えています。



地域のイベントに生徒が積極的に参画しています。
(黒磯駅前キャンドルナイト)



ふれあい人権のまど

「アンコンシャス・バイアス」②

みなさんは、次のように思う（する）ことはありますか。

- ・「男らしく」「女らしく」あるべきと思う。
- ・「普通」「当たり前」「常識」という言葉を使う。
- ・評判や噂で、相手を見ることがある。
- ・社会人ならば結婚して家庭をもつべき。
- ・男性は、仕事を優先するものだ。
- ・家事や育児は、女性の仕事。

私たちは、過去に見聞きしたことなどに影響を受けて、無意識のうちに、偏った見方をしていることがあるかもしれません。



「アンコンシャス・バイアス」があること自体が悪いわけではありません。これまでの経験から自分なりに解釈する、という機能は、誰にでも備わっているからです。問題は、そのことに気付かず、決めつけや思い込みによって誰かを傷つけてしまうことです。

物事に対する感じ方や解釈は、状況によって様々に異なります。100人に当てはまっても、101人目には当てはまらない、100回同じ結果でも、101回目は違う結果かもしれません。

生活の中で、「アンコンシャス・バイアスかも？」と意識する習慣ができるといいですね。

参考：「令和3年度 性差による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査研究」（内閣府男女共同参画局 HP）
「一般社団法人アンコンシャス・バイアス研究所HP」